

# Weekly Global Economy

海外 経済指標・イベント予定 (2007年7月23日～7月27日)

発表日：2007年7月20日(金)

第一生命経済研究所 経済調査部  
主任エコノミスト 桂畑 誠治  
副主任エコノミスト 柵山 順子

7月23日～7月27日予定

発表日 (日本時間)	イベント (経済指標、講演、等)	当社 予想	コンセンサス、 市場予想レンジ	前月値 (前回値)
7.23 (月)				
7.24 15:45	(仏) 6月家計工業品支出 (前月比)	+0.6%	+0.7% (+0.2～+1.5%)	▲0.8%
(火) 17:00	(欧) 7月製造業PMI (速報値)	55.5	55.6 (55.0～57.5)	55.6
17:00	(欧) 7月サービス業PMI (速報値)	58.0	58.0 (57.0～58.5)	58.3
17:00	(欧) 7月合成PMI (速報値)	57.6	57.5 (57.0～57.6)	57.8
18:00	(欧) 5月鉱工業新規受注 (前月比)	+1.0%	+1.1% (+0.3～+1.8%)	▲0.4%
22:00	(米) ミシュキンFRB理事がグローバル化やインフレについてフランクフルトのECB会議でスピーチ			
23:00	(米) 7月リッチモンド連銀製造業指数	+4	+4 (+2～+5)	+4
6:00	(米) ABC消費者信頼感指数			▲11
6:30	(米) セントルイス連銀総裁がエネルギーや経済についてデラウェア州でスピーチ			
7.25 8:00	(韓国) 4-6月期実質GDP (前年比)	+5.0%		+4.0%
(水)				
20:00	(米) MBA住宅ローン申請指数	▲0.2%		+0.9%
23:00	(米) 6月中古住宅販売件数 (百万戸)	5.88	5.90 (5.45～6.15)	5.99
3:00	(米) ページュブック			
5:45	(米) ニューヨーク連銀総裁が世界的統合についてワシントンで講演			
8:30	(米) セントルイス連銀総裁にヘルドリング賞授与			

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

7.26	※ (木)	(独) 7月消費者物価 (前年比、速報値、29日までに発表)	+1.9%	+1.8% (+1.7~+1.9%)	+1.8%
	17:00	(欧) 6月マネーサプライ (前年比、M3)	+10.8%	+10.6% (+10.6~+10.7%)	+10.7%
	17:00	(独) 7月Ifo景気動向指数 期待指数	106.5 102.0	106.5 (105.9~107.8) 102.1 (101.5~111.0)	107.0 102.8
	21:30	(米) 6月耐久財受注 (前月比) 除く輸送用機器 (前月比)	+1.9% +0.7%	+1.7% (+0.3~+3.1%) +0.5% (0.0~+1.0%)	▲2.4% ▲0.4%
	21:30	(米) 新規失業保険申請件数 (千件)	310	310 (300~315)	301
	21:30	(米) 6月新築住宅販売件数 (千戸)	910	900 (810~933)	915
	23:00	(米) 6月求人広告指数	27	27 (27~28)	27
7.27	※	(中国) 6月先行指数 (31日までに発表)	103.5		102.96
	(金) ※	(中国) 6月一致指数 (31日までに発表)	103.4		102.80
	15:10	(独) 8月GfK消費者信頼感調査	+8.6	+8.6 (+8.0~+9.0)	+8.4
	15:30	(インド) 卸売物価 (前年比、7月14日の週)	+4.22%		+4.28%
	21:30	(米) 4-6月期実質GDP (前期比年率、速報値)	+3.4%	+3.2% (+2.5~+3.9%)	+0.7%
	23:00	(米) 7月ミシガン大消費者センチメント (確定値)	91.0	91.0 (90.0~93.1)	92.4

上記以外に、毎週火曜日に週間小売統計が発表される。

(注1) 網掛けの経済指標は Indicators 作成予定、太字は重要指標

(注2) 市場予想は Bloomberg

(注3) ※は発表時期未定

(注4) (欧) はユーロ圏

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

# 各国別重要指標の解説

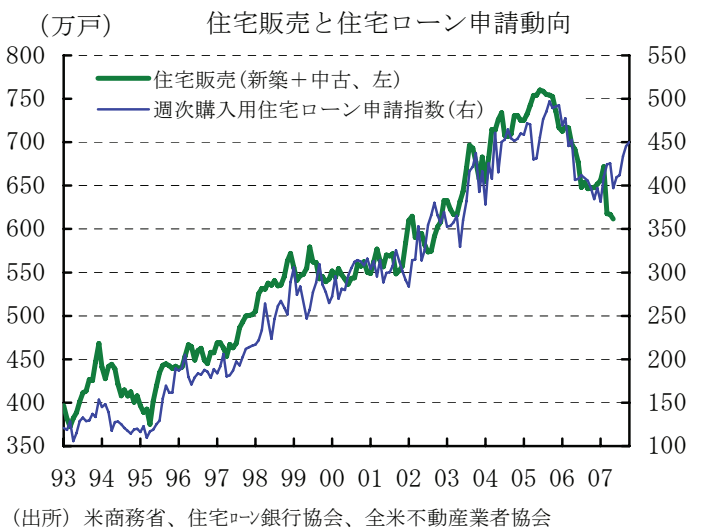
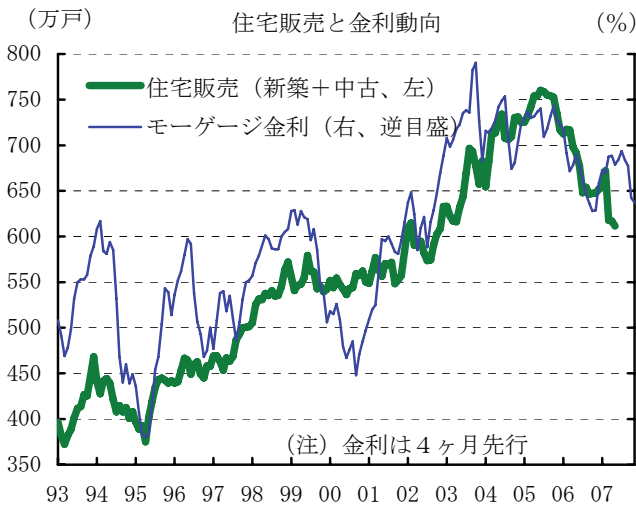
## ●米国

### 6月中古住宅販売件数（百万戸）、6月新築住宅販売件数（千戸）

・6月の住宅販売は、住宅保留指数が低下したことから中古住宅販売の減少が予想されるため、前月比で小幅減少が見込まれる。モーゲージ金利の上昇によって需要が抑制されるものの、雇用・所得の拡大、住宅購入価格の低下等によって週間の住宅購入用ローン申請件数が7月1、2週にかけて水準を切り上げていることから、早晩下げ止まる可能性が高い。

	住宅販売(1戸建て)		平均住宅販売価格		新築住宅 在庫率	中古住宅 在庫率	住宅関連指標の動向		住宅市場 指数	住宅着工	住宅許可			住宅許可	
	新築	中古	新築	中古			モーゲージ 購入指数	モーゲージ 金利			1戸建て	2～4戸	5戸以上		
06/10	6472	952	5520	+4.5	▲3.0	7.1	7.4	▲3.9	6.30	31	1470	1181	38	251	1560
06/11	6477	987	5490	▲0.9	▲2.4	6.5	7.3	+7.5	6.13	33	1565	1273	20	272	1527
06/12	6519	1019	5500	+4.0	▲0.3	6.2	6.6	+3.5	6.12	33	1629	1241	49	339	1628
07/01	6560	890	5670	+4.5	▲3.5	7.2	6.6	+0.3	6.21	35	1403	1123	23	257	1566
07/02	6720	840	5880	+4.4	▲0.2	8.1	6.8	▲6.7	6.16	39	1487	1188	30	269	1541
07/03	6177	827	5350	+8.9	▲0.3	8.3	7.4	+3.2	6.07	36	1491	1205	36	250	1569
07/04	6170	930	5240	▲3.4	▲0.5	7.0	8.4	+0.6	6.16	33	1485	1195	36	254	1457
07/05	6115	915	5200	+6.5	▲1.1	7.1	8.9	+5.3	6.23	30	1434	1153	32	249	1520
07/06								+2.7	6.58	28	1467	1151	35	281	1406
07/07								+1.1	6.63	24					

(注) 単位は住宅販売が千戸、その他は%。



## ページブック

- ・総括部分では「緩やかな拡大が続いた」との評価が示されよう。
- ・前年比で業者が判断するため小売は前回よりも改善したことが示されると予想される。製造業は在庫調整の終了に伴い拡大ペースを速めたことが指摘されよう。インフレに関しては、CPI統計などの経済指標が足下で鈍化しているが、ページブックではこれまでCPI統計が加速したときも消費者段階での物価の安定が指摘されてきたように、小売での実際の価格動向が指摘される。このため、これまでと同様に小売段階での物価は安定しているとの見方が示されるとみられる。
- ・今回は、サブプライム問題の影響について指摘される可能性があるが、Fed関係者の発言等から貸し出しや借り入れ全般への影響は限定的と報告されると考えられる。

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

## 6月耐久財受注（前月比）

### 除く輸送用機器（前月比）

・6月のボーイングの受注台数が再び急増したことから、6月の耐久財受注は高い伸びが予想される。除く輸送用機器ベースでも一次金属、加工金属、電気機器・同部品が拡大に転じる形で小幅増加する可能性が高い。3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比年率ではともにプラス幅を拡大し、モメンタムの加速が示されよう。

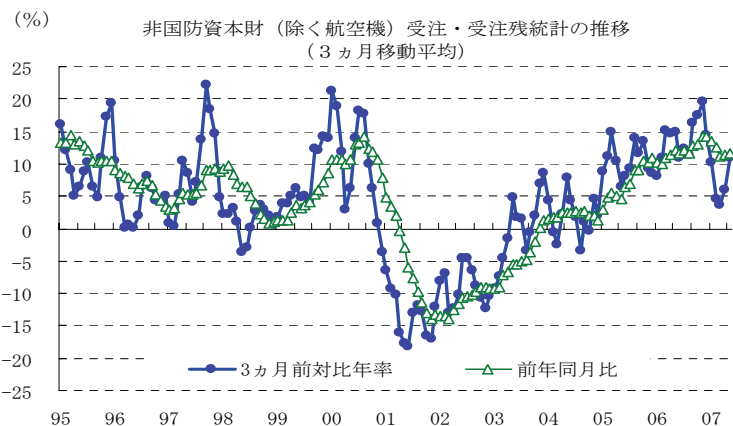
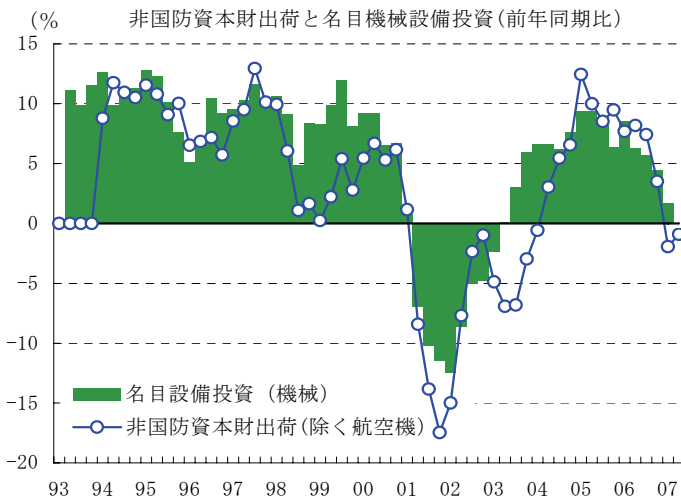
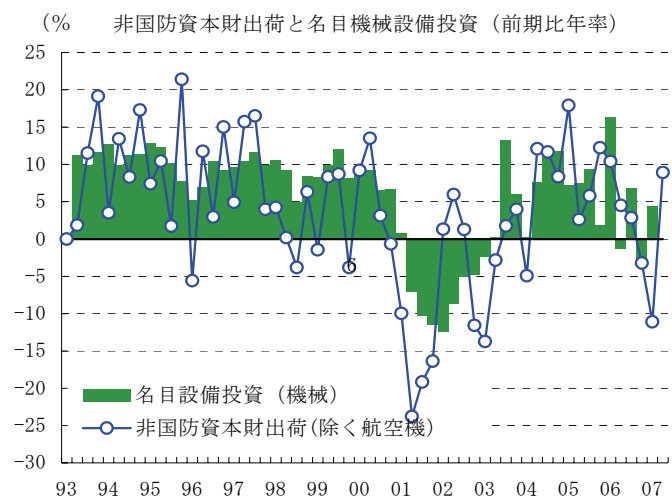
・機械・ソフトウェア投資に先行する非国防資本財受注（除く航空機）は小幅低下も、4～6月期では大幅なプラスとなっており、機械・ソフトウェア投資の加速が確認されるとみられる。

耐久財受注（Advance Report on Durable Goods Manufacturers' Shipments and Orders）

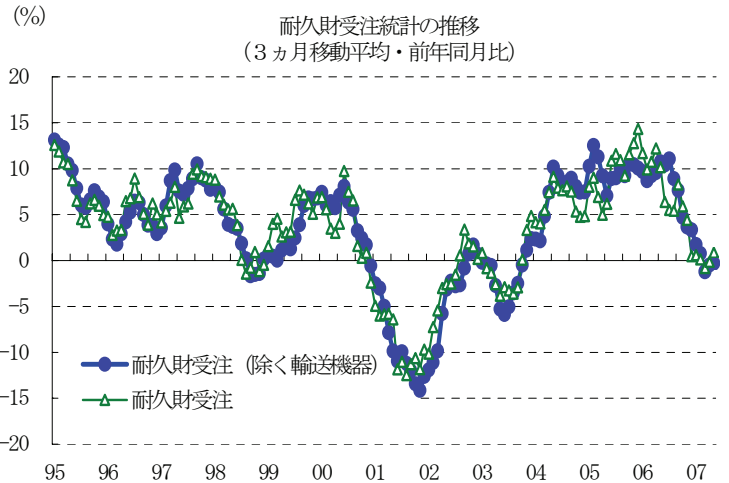
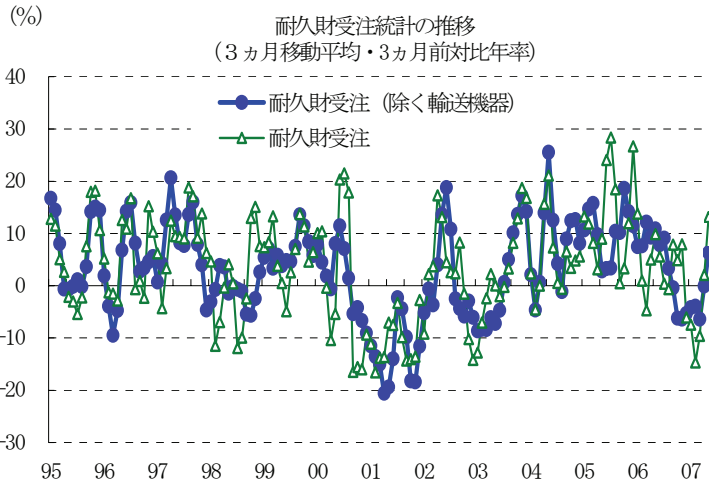
	出荷			受注				在庫			
	耐久財	除く輸送機器	非国防資本財 除く輸送機器	耐久財	除く輸送機器	非国防資本財 除く輸送機器	耐久財	除く輸送機器	非国防資本財 除く輸送機器		
05/4Q	+3.5	+3.6	(+8.9)	+2.9	+6.1	+2.8	(+10.1)	+1.9	+2.3	+1.5	+0.2
06/1Q	+1.1	+2.5	(+8.1)	+2.5	▲1.2	+2.9	(+9.2)	+4.7	+0.9	+2.0	+1.7
06/2Q	+0.4	+0.8	(+8.5)	+1.1	+1.4	+1.9	(+10.4)	+0.4	+2.5	+2.6	+1.5
06/3Q	▲0.2	+0.5	(+7.6)	+0.7	+1.9	▲0.1	(+7.7)	+2.5	+2.9	+3.3	+3.2
06/4Q	▲0.4	▲1.3	(+2.5)	▲0.8	▲1.6	▲1.4	(+3.3)	▲1.5	+1.4	+1.5	+1.8
07/1Q	▲1.1	▲0.9	(▲0.9)	▲2.9	▲2.5	▲1.6	(▲1.2)	▲4.3	+0.6	+0.1	+0.4
06/12	+1.6	+0.6	(+1.2)	+0.2	+1.5	+2.6	(+4.4)	+0.9	+0.3	+0.7	+1.2
07/01	▲1.5	▲0.3	(▲0.1)	▲4.2	▲6.1	▲3.1	(▲1.0)	▲4.4	+0.4	+0.2	+0.5
07/02	▲1.5	▲1.4	(▲1.9)	+0.6	+0.5	▲0.6	(▲1.0)	▲2.4	+0.1	+0.0	+0.1
07/03	+1.3	+1.0	(▲0.9)	+1.6	+5.1	+1.6	(▲1.6)	+4.6	+0.1	▲0.1	▲0.3
07/04	+2.0	+3.4	(+3.3)	+0.9	+1.0	+2.3	(+1.2)	+2.0	+0.4	▲0.0	▲0.1
07/05	+0.5	▲0.1	(+1.2)	+0.1	▲2.4	▲0.4	(▲0.4)	▲2.1	+0.1	▲0.0	+0.5

（出所） 商務省

（注） 四半期は前期比、月次は前月比伸び率。 () 内は季節調整値の前年比。



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。



#### 4-6月期実質GDP（前期比年率、速報値）

・住宅投資のマイナスが続くなかで、ガソリン価格の上昇や昨年よりも早いイースター休暇の反動によって個人消費が減速すると予想される。一方で、良好な業績、商業関連での建設需要の拡大等を背景とした設備投資の拡大、国防、インフラ関連での政府支出の加速に加えて、在庫調整の終了に伴い在庫投資が拡大に転じよう。さらに、輸出の加速、輸入の減少を背景に純輸出がプラス寄与に転じると予想され、4～6月期の実質GDP成長率は前期比年率+3.4%に加速する公算が大きい。

#### 米国GDP予測表

(季節調整済み、%、10億ドル)

	2006年 (実績)	2007年 (予測)	2008年 (予測)	2006年				2007年				2008年				2009年
				1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3
実質GDP	3.3	2.2	3.1	5.6	2.6	2.0	2.5	0.7	3.4	2.2	3.3	3.4	3.2	2.9	2.3	2.2
個人消費	3.2	3.2	2.9	4.8	2.6	2.8	4.2	4.2	1.5	3.0	3.0	3.0	3.2	2.8	2.7	2.6
住宅投資	▲4.2	▲14.4	▲1.3	▲0.3	▲11.1	▲18.6	▲19.8	▲15.7	▲10.3	▲11.6	▲2.8	5.1	2.2	▲1.5	0.7	3.1
設備投資	7.2	4.2	8.2	13.7	4.4	10.0	▲3.1	2.6	6.1	7.3	9.6	8.8	8.6	7.0	6.9	6.8
在庫投資	43.2	14.6	37.1	41.2	53.7	55.4	22.4	▲4.2	10.8	20.8	30.8	39.8	39.8	41.8	26.8	1.8
政府支出	2.1	1.9	2.0	4.9	0.8	1.7	3.4	1.0	2.6	1.6	1.2	2.6	2.5	1.9	1.0	1.5
純輸出	▲618.1	▲597.5	▲651.3	▲636.6	▲624.2	▲628.8	▲582.6	▲606.2	▲575.0	▲599.0	▲609.6	▲631.3	▲650.3	▲658.9	▲664.7	▲665.3
輸出	8.9	5.8	7.7	14.0	6.2	6.8	10.6	0.7	5.1	7.0	9.9	8.4	6.8	6.7	6.6	6.5
輸入	5.8	2.9	8.1	9.0	8.2	9.1	9.4	6.0	5.8	5.8	5.6	7.6	8.0	7.9	7.1	6.6
実質国内需要	3.1	1.9	3.4	5.3	2.0	2.0	0.8	1.4	2.2	2.9	3.5	3.9	3.6	3.0	2.3	2.1
実質最終需要	3.1	2.4	2.9	5.7	2.1	1.9	3.6	1.6	2.8	1.9	3.0	3.1	3.2	2.9	2.8	3.0
実質国内最終需要	2.9	2.1	3.2	5.4	1.6	2.0	1.9	2.3	1.7	2.6	3.2	3.6	3.7	3.0	2.8	2.9
名目GDP	6.3	5.0	5.6	9.0	5.9	3.9	4.1	4.9	5.6	6.1	5.6	5.6	5.7	4.8	5.2	4.8
GDPデフレーター	2.93	2.74	2.44	3.3	3.3	1.8	1.7	4.0	2.6	3.1	2.4	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3

予測

(注1) 在庫増減、純輸出の欄の上段数字は実績(10億ドル)、下段は寄与度。  
(注2) その他の項目の上段数字は前期比年率、下段は前年同期比。

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

## ●欧州

### (欧) 7月製造業PMI (速報値)

6月製造業PMIで新規受注が高い伸びを示したことを考慮すると、7月の生産は好調さを保っていると予想される。一方、サービス業についても、金融業が好調さを維持したことに加えて、雇用環境の拡大に伴い個人向けサービスの持ち直しが続いていると予想されることから、高水準での推移が続いた可能性が高い。総じて見ると、製造業、サービス業ともに、前月の高水準を維持し、ユーロ圏経済の堅調な推移が続いていることが示されるだろう。

### (独) 7月Ifo景気動向指数

Ifoがすでに歴史的な高水準にあることを考えると、ここからまだ指数を押し上げる程の材料は特に見当たらない。一方、先日発表されたZEW景況感指数は、ユーロ高や原油高が懸念材料となり、大きく水準を下げた。業種別にみると、年末年始の暖冬による好調からの調整が続く建設業や、雇用環境の改善の割には拡大テンポが加速しない小売業の先行き見通しが悪化しており、Ifoでも同様の傾向が現れる可能性が高い。ただし、景気不透明感などに対しては、ZEWの方がIfoよりも敏感に反応するケースが多いことなどを考えると、Ifoの低下は限定的なものに留まるだろう。

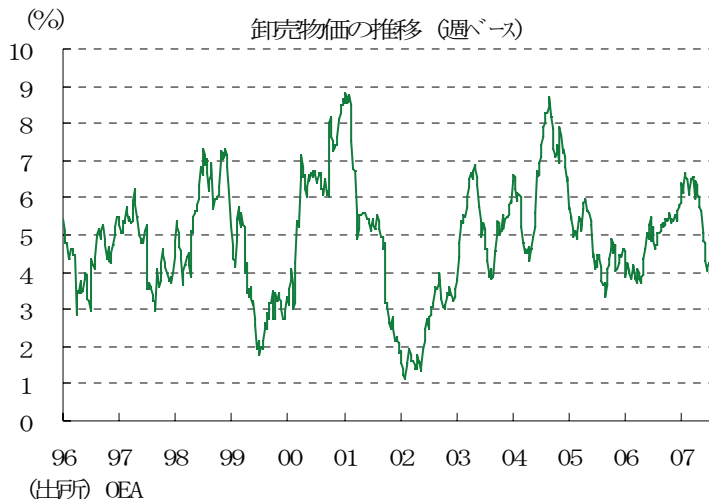
### (独) 7月消費者物価

北海ブレント価格はすでに前年比でプラスとなっており、これまで、物価押し下げに寄与してきたエネルギー価格が、押し上げ圧力に転じる可能性が出てきた。こうした中、長く続く景気拡大を背景に、これまでの原油価格高騰の影響が消費者に徐々に転嫁され始め、コア物価の伸び率が高まってきていることを考えると、消費者物価全体の伸びも高まってくると予想する。

## ●アジア

### (インド)

### 卸売物価 (前年比、7月14日の週)



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。



## ＜日本・海外経済＞月間スケジュール (07年7月～9月) 7月

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
7/2 6月日銀短観(8:50) 5月毎月勤労統計(10:30) 6月自動車販売(14:00) 6月軽自動車販売(14:00) 西村日銀審議委員講演  (米)6月ISM製造業指数 (欧)6月製造業PMI(確定値)	3 6月短観業種別計数及び調査全容(8:50) 6月マネタリーベース(8:50) 5月家計消費状況調査(14:00) 10年利付国債 武藤日銀副総裁講演  (米)5月中古住宅販売保留 (米)5月製造業受注 (米)6月自動車販売	4	5 5月景気動向指数(14:00)  (米)6月ISM非製造業指数 (欧)ECB理事会 (英)BOE金融政策決定会合	6 (米)6月雇用統計
9 5月機械受注(8:50) 6月マネーサプライ(8:50) 6月貸出・資金吸収(8:50) 6月景気ウォッチャー(14:00)  (米)5月消費者信用残高	10 5年利付国債  (シンガポール)4-6月期実質GDP	11 5月国際収支(8:50) 6月企業物価(8:50) 6月消費動向調査(14:00) 金融政策決定会合(～12日)	12 5月鉱工業指数・確(13:30) 5月商業販売統計・確(13:30) 7月金融経済月報(15:00) 日銀総裁定例記者会見(15:30)  (米)5月貿易収支 (米)6月財政収支	13 6月投入・産出物価指数(8:50)  (米)6月輸入物価 (米)6月小売売上高 (米)7月シカゴ大消費者センチ(速) (米)5月企業在庫
16 (米)7月NY連銀製造業指数	17 5月第3次産業活動指数(8:50) 7月月例経済報告  (米)5月対米証券投資 (米)6月鉱工業生産 (米)7月NAHB住宅指数	18 5月毎月勤労統計・確(10:30) 5月建設総合統計(14:00) 5月景気動向指数改訂(14:00) 金融政策決定会合議事要旨(6月14・15日分) 30年利付国債  (米)6月消費者物価 (米)6月住宅着工件数 (米)6月建設許可件数	19 7月ロイター短観(8:30) 5月全産業活動指数(8:50) 6月全国百貨店売上高(14:30)  (米)6月景気先行指数 (米)7月フィラ連銀指数 (米)FOMC議事録(6/28) (中国)4-6月期実質GDP	20 6月コンビニエンスストア統計(16:00)  (英)4-6月期実質GDP
23 6月チェーンストア販売統計(14:00)	24 7月主要銀行貸出アンケート調査(8:50)  (欧)7月製造業PMI(速報値)	25 6月貿易統計(8:50)  (米)ページブック (米)6月中古住宅販売件数 (韓国)4-6月期実質GDP	26 6月CSPI(8:50) 20年利付国債 野田日銀審議委員挨拶  (米)6月耐久財受注 (米)6月新築住宅販売件数 (米)6月求人広告指数 (独)7月ifo景況感指数	27 6月消費者物価・全(8:30) 7月消費者物価・都(8:30) 6月商業販売統計(8:50)  (米)4-6月期実質GDP(速報値) (米)7月シカゴ大消費者センチ(確)
30 6月鉱工業指数(8:50)	31 6月労働力調査(8:30) 6月一般職業紹介状況(8:30) 6月家計調査(8:30) 6月毎月勤労統計(10:30) 6月住宅着工統計(14:00) 2年利付国債  (米)6月個人所得・消費 (米)6月PCEデフレータ (米)4-6月期雇用コスト指数(速) (米)7月シカゴPMI (米)6月建設支出 (欧)7月消費者物価(速)	8/1 7月自動車販売(14:00) 7月軽自動車販売(14:00) 2007年路線価  (米)7月ISM製造業指数 (米)7月自動車販売 (米)6月中古住宅販売保留 (欧)7月製造業PMI(確定値)	2 7月マネタリーベース(8:50) 10年利付国債  (米)6月製造業受注 (欧)ECB理事会 (英)BOE金融政策決定会合	3 6月家計消費状況調査(14:00)  (米)7月雇用統計 (米)7月ISM非製造業指数

(※)印は日時が未定のもの

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

## 8月

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
<p>30 6月鉱工業指数(8:50)</p>	<p>31 6月労働力調査(8:30) 6月一般職業紹介状況(8:30) 6月家計調査(8:30) 6月毎月勤労統計(10:30) 6月住宅着工統計(14:00) 2年利付国債</p> <p>(米)6月個人所得・消費 (米)6月PCEデフレーター (米)4-6月期雇用コスト指数(速) (米)7月シカゴPMI (米)6月建設支出 (欧)7月消費者物価(速)</p>	<p>8/1 7月自動車販売(14:00) 7月軽自動車販売(14:00) 2007年路線価</p> <p>(米)7月ISM製造業指数 (米)7月自動車販売 (米)6月中古住宅販売保留 (欧)7月製造業PMI(確定値)</p>	<p>2 7月マネタリーベース(8:50) 10年利付国債</p> <p>(米)6月製造業受注 (欧)ECB理事会 (英)BOE金融政策決定会合</p>	<p>3 6月家計消費状況調査(14:00)</p> <p>(米)7月雇用統計 (米)7月ISM非製造業指数</p>
<p>6 6月景気動向指数(14:00)</p>	<p>7 10年物価変動国債</p> <p>(米)FOMC (米)6月消費者信用残高 (米)4-6月期非農業部門労働生産性(速)</p>	<p>8 6月機械受注(8:50) 7月マネーサプライ(8:50) 7月貸出・資金吸収(8:50) 7月景気ウォッチャー(14:00)</p>	<p>9 5年利付国債</p>	<p>10 7月企業物価(8:50) 6月鉱工業指数・確(13:30) 6月商業販売統計・確(13:30) 7月消費動向調査(14:00)</p> <p>(米)7月輸入物価 (米)7月財政収支 (伊)4-6月期実質GDP</p>
<p>13 6月国際収支(8:50) ※4-6月期GDP1次速報(8:50)</p> <p>(米)7月小売売上高 (米)6月企業在庫</p>	<p>14 6月第3次産業活動指数(8:50) 7月投入・産出物価指数(8:50)</p> <p>(米)6月貿易収支 (欧)4-6月期実質GDP (独)4-6月期実質GDP (仏)4-6月期実質GDP</p>	<p>15 8月ロイター短観(8:30)</p> <p>(米)7月消費者物価 (米)8月NY連銀製造業指数 (米)6月対米証券投資 (米)7月鉱工業生産 (米)8月NAHB住宅指数 ※(インドネシア)4-6月期実質GDP</p>	<p>16 6月建設総合統計(14:00)</p> <p>(米)7月住宅着工件数 (米)7月建設許可件数 (米)8月フィリピン連銀指数</p>	<p>17 6月毎月勤労統計・確(10:30) 6月景気動向指数改訂(14:00) ※7月全国百貨店売上高(14:30)</p> <p>(米)8月シカゴ大消費者センチ(速) (香港)4-6月期実質GDP</p>
<p>20 7月コンビニエンスストア統計(16:00)</p> <p>(米)7月景気先行指標</p>	<p>21 6月全産業活動指数(8:50) 15年変動利付国債</p> <p>※(台湾)4-6月期実質GDP</p>	<p>22 金融政策決定会合(～23日) ※7月貿易統計(8:50) ※7月チェーンストア販売統計(14:00)</p> <p>※(マレーシア)4-6月期実質GDP</p>	<p>23 8月金融経済月報(15:00) 日銀総裁定例記者会見(15:30) ※8月月例経済報告</p>	<p>24 7月CSPI(8:50)</p> <p>(米)7月耐久財受注 (米)7月新築住宅販売件数 (欧)8月製造業PMI(速報値) ※(独)8月ifo景況感指数</p>
<p>27 (米)7月中古住宅販売件数</p>	<p>28 金融政策決定会合議事要旨(7月11・12日分) 20年利付国債</p> <p>(米)FOMC議事録(8/7)</p>	<p>29</p>	<p>30 7月商業販売統計(8:50) 2年利付国債</p> <p>(米)4-6月期実質GDP(改定値) (米)7月求人広告指数 (米)4-6月期住宅価格指数 (フィリピン)4-6月期実質GDP</p>	<p>31 7月消費者物価・全(8:30) 8月消費者物価・都(8:30) 7月労働力調査(8:30) 7月一般職業紹介状況(8:30) 7月家計調査(8:30) 7月鉱工業指数(8:50) 7月住宅着工統計(14:00)</p> <p>(米)7月個人所得・消費 (米)7月PCEデフレーター (米)8月シカゴPMI (米)7月製造業受注 (米)8月シカゴ大センチ(確) (欧)8月消費者物価(速)</p>

(※)印は期日が未定のもの

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。



## 9月

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
27 (米)7月中古住宅販売件数	28 金融政策決定会合議事要旨 (7月11・12日分) 20年利付国債  (米)FOMC議事録(8/7)	29	30 2年利付国債 7月商業販売統計(8:50)  (米)4-6月期実質GDP(改定値) (米)7月求人広告指数 (米)4-6月期住宅価格指数  (フィリピン)4-6月期実質GDP	31 7月消費者物価・全(8:30) 8月消費者物価・都(8:30) 7月労働力調査(8:30) 7月一般職業紹介状況(8:30) 7月家計調査(8:30) 7月鉱工業指数(8:50) 7月住宅着工統計(14:00)  (米)7月個人所得・消費 (米)7月PCEデフレーター (米)8月シカゴPMI (米)7月製造業受注 (米)8月ミシガン大センチ(確) (欧)8月消費者物価(速)
9/3 4~6月期法人企業統計(8:50) 7月毎月勤労統計(10:30) 8月自動車販売(14:00) 8月軽自動車販売(14:00)  (欧)8月製造業PMI(確定値) (タイ)4-6月期実質GDP	4 8月マネタリーベース(8:50) 7月家計消費状況調査(14:00) 10年利付国債  (米)8月ISM製造業指数 (米)8月自動車販売 (米)7月建設支出	5 (米)ページブック (米)7月中古住宅販売保留	6 (米)4-6月期非農業部門労働生産性(確) (米)8月ISM非製造業指数 (欧)ECB理事会 (英)BOE金融政策決定会合	7 7月景気動向指数(14:00)  (米)8月雇用統計
10 4-6月期GDP2次速報(8:50) 8月マネーサプライ(8:50) 8月貸出・資金吸収(8:50) 8月景気ウォッチャー  (米)7月消費者信用残高	11 7月機械受注(8:50) 5年付国債 ※8月消費動向調査(14:00)  (米)7月貿易収支	12 7月国際収支(8:50) 8月企業物価(8:50)	13 7月商業販売統計・確(13:00)  (米)8月財政収支	14 8月投入・産出物価指数(8:50) 7月鉱工業指数・確(13:30)  (米)8月輸入物価 (米)8月小売売上高 (米)8月鉱工業生産 (米)9月ミシガン大消費者センチ(速) (米)7月企業在庫
17 (米)9月NY連銀製造業指数	18 9月ロイター短観(8:30) 7月第3次産業活動指数(8:50) 4~6月期資金循環(8:50) 7月毎月勤労統計・確(10:30) 7月建設総合統計(14:00) 金融政策決定会合(~19日) ※9月月例経済報告 ※2007年基準地価  (米)FOMC (米)9月NAHB住宅指数 (米)7月対米証券投資	19 9月金融経済月報(15:00) 日銀総裁定例記者会見(15:30) 7月景気動向指数改訂(14:00) ※8月全国百貨店売上高(14:30)  (米)8月消費者物価 (米)8月住宅着工件数 (米)8月建設許可件数	20 7~9月期法人企業景気予測調査(8:50) 8月コンビニエンスストア統計(16:00) 20年利付国債  (米)8月景気先行指標 (米)9月フィラ連銀指数	21 7月全産業活動指数(8:50) ※8月チェーンストア販売統計(14:00)
24 ※(独)9月IFO景況感指数	25 8月CSP1(8:50) 金融政策決定会合議事要旨 (8月22・23日分)  (米)8月中古住宅販売件数	26 ※8月貿易統計(8:50)  (米)8月耐久財受注	27 2年利付国債  (米)8月新築住宅販売件数 (米)8月求人広告指数 (米)4-6月期実質GDP(確定値)	28 8月消費者物価・全(8:30) 9月消費者物価・都(8:30) 8月労働力調査(8:30) 8月一般職業紹介状況(8:30) 8月家計調査(8:30) 8月鉱工業指数(8:50) 8月商業販売統計(8:50) 8月住宅着工統計(14:00)  (米)8月個人所得・消費 (米)8月PCEデフレーター (米)9月シカゴPMI (米)9月ミシガン大センチ(確) (米)8月建設支出 (欧)9月消費者物価(速) (インド)4-6月期実質GDP

(※)印は期日が未定のもの

以上

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。